



2025年5月26日

各 位

会 社 名 福留ハム株式会社
代表者名 代表取締役社長 福原 治彦
(コード：2291 東証スタンダード市場)
問合せ先 経営管理本部長 梶原 勝
(TEL 082-278-6181)

(訂正・数値データ訂正)
2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)の一部訂正について

当社は、2025年5月13日に公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、内容の一部に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後、連結貸借対照表の負債の部、流動負債の内訳である「短期借入金」の金額に固定負債「長期借入金」の一部が含まれていることが判明しましたので、訂正いたします。また、セグメントごとの経営成績につきまして、加工食品事業及び食肉事業におけるセグメント利益(営業利益)の金額に誤りがありましたので、訂正いたします。

なお、連結損益計算書の内容、連結貸借対照表の負債の合計額に変更はございません。

2. 訂正の内容

訂正の内容は以下のとおり、該当箇所を抜粋の上、下線を付して表示しております。

- ・1ページ「1. 経営成績等の概況(2)当期の財政状態の概況」

【訂正前】

(負債の部)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億24百万円減少の106億73百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ37百万円増加の75億66百万円となりました。主な要因は、短期借入金2億円と未払金1億80百万円の増加と支払手形及び買掛金3億29百万円の減少によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ5億61百万円減少の31億7百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債66百万円の増加と長期借入金3億81百万円とその他2億95百万円の減少によるものであります。

【訂正後】

(負債の部)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億24百万円減少の106億73百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ12百万円増加の75億41百万円となりました。主な要因は、短期借入金1億74百万円と未払金1億80百万円の増加と支払手形及び買掛金3億29百万円の減少によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ5億36百万円減少の31億32百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債66百万円の増加と長期借入金3億55百万円とその他2億95百万円の減少によるものであります。

・ 4 ページ 「 3. 連結財務諸表及び主な注記 (1) 連結貸借対照表」

【訂正前】

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,314	1,985
短期借入金	4,253	4,453
リース債務	34	44
未払金	592	773
未払費用	85	86
未払法人税等	55	27
賞与引当金	153	155
その他	39	39
流動負債合計	7,529	7,566
固定負債		
長期借入金	1,626	1,244
リース債務	56	100
退職給付に係る負債	1,423	1,428
繰延税金負債	216	282
その他	346	50
固定負債合計	3,669	3,107
負債合計	11,198	10,673

【訂正後】

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,314	1,985
短期借入金	4,253	4,428
リース債務	34	45
未払金	592	773
未払費用	85	86
未払法人税等	55	27
賞与引当金	153	155
その他	39	39
流動負債合計	7,529	7,541
固定負債		
長期借入金	1,626	1,270
リース債務	56	100
退職給付に係る負債	1,423	1,428
繰延税金負債	216	282
その他	346	50
固定負債合計	3,669	3,132
負債合計	11,198	10,673

・ 1 ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」

【訂正前】

加工食品事業

加工食品事業につきましては、国内景気の回復ならびに人流・インバウンド消費の回復に伴い、外食・業務筋の需要は増加いたしました。一方、消費者の低価格志向・節約志向が高まるなか、前年度からの価格改正・値上げを実施した結果、量販店向け主力商品の販売量が大きく減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。また、利益につきましても、原価低減ならびに生産性向上に努めたものの、生産量減少幅が想定以上に大きかったため、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は102億2百万円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益（営業利益）は2億12百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、国産牛や国産豚が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。また、利益につきましては、円安による輸入商品だけでなく国内商品の仕入れコスト上昇ならびに物流コスト上昇を納品価格に十分に転嫁できなかったため、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は144億18百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント損失（営業損失）は2億39百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億18百万円）となりました。

【訂正後】

加工食品事業

加工食品事業につきましては、国内景気の回復ならびに人流・インバウンド消費の回復に伴い、外食・業務筋の需要は増加いたしました。一方、消費者の低価格志向・節約志向が高まるなか、前年度からの価格改正・値上げを実施した結果、量販店向け主力商品の販売量が大きく減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。また、利益につきましても、原価低減ならびに生産性向上に努めたものの、生産量減少幅が想定以上に大きかったため、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は102億2百万円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益（営業利益）は1億28百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、国産牛や国産豚が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。また、利益につきましては、円安による輸入商品だけでなく国内商品の仕入れコスト上昇ならびに物流コスト上昇を納品価格に十分に転嫁できなかったため、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は144億18百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント損失（営業損失）は1億55百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億18百万円）となりました。

・ 11 ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」

【訂正前】

当連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,202	14,418	24,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	10,202	14,418	24,621
セグメント利益又は損失 (△)	212	△239	△27
セグメント資産	5,556	2,683	8,239
その他の項目			
減価償却費	351	25	376
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	438	12	450

【訂正後】

当連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,202	14,418	24,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	10,202	14,418	24,621
セグメント利益又は損失 (△)	128	△155	△27
セグメント資産	5,556	2,683	8,239
その他の項目			
減価償却費	351	25	376
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	438	12	450

・ 3 ページ「1. 経営成績等の概況（5）継続企業の前提に関する重要事象等」

【訂正前】

4. 業務効率化（基幹システム刷新）～2027年10月稼働予定～

【訂正後】

4. 業務効率化（基幹システム刷新）～2026年10月稼働予定～

以 上